



年頭にあたって



会長 蛭子政喜
会員の皆様、あけましておめでと
うございます。

令和4年の正月を楽しく過ごされ
ている事とお慶び申し上げます。昨
年は新型コロナの関係で各種行事を
自粛する事となりましたが、今年も
会員の安全安心を大切にして様子をみながら各種
行事を計画したいと思えます。

当会のモットーであります龍馬の生き方、考え方
など通じて会員相互の連携をより一層図る為、例
会等で会員講話を中心に互いに研鑽を図り会員を
増やしながらいより一層の交流懇親を図
りましょう。

金沢龍馬会の皆様方の益々のご清栄と
更なるご活躍をご祈念申し上げます。



第33回龍馬 World in 高知大会

報告：吉田信夫事務局長

「第33回 龍馬 World in 高知」が昨年10月30日
(土)「高知市文化プラザかるぼーと」で開催されま
した。ライブ中継されたので既に YouTube でご覧に
なられた方もあると思えます。

金沢龍馬会からは蛭子/宇賀/吉田の有志3名が勇躍
参加されました。先ず明德義塾中学・高校の和太鼓で
参加者を歓迎しました。

講演は JR九州龍馬会会長(JR九州社長)青柳俊彦
氏が「九州から世界を元気に」という演題で話されま
した。

本業の鉄道は九州という地域的な人口問題や毎年
起きる災害で復旧工事が必要であるというハンデを
克服し、不動産、複合的駅ビル、飲食などで

余剰人員を吸収し上場までこぎつけた話しや、龍馬
精神を発揮し今後の業務展開を図り、将に九州から世
界に夢や元気を飛ばしたいという決意を語りました。



その後パネルディスカッションが行われましたが、集
まったのはいずれも企業内龍馬会会長等で、問題が多
い業界の会社代表でした。

JR四国社長、JTB会長、日本旅行社長、JT四国支
社長です。

いずれも大企業なのにコロナ禍で業界や社業が傾い
たり、タバコという社会悪扱いをされている会社です。
各自から龍馬の魅力・共感していること、龍馬会立ち上
げの経緯・活動、どのような夢を持っているか、夢を
実現する方法、企業龍馬会からの提言について発言し
ました。

司会役の JR四国半位社長がまとめました。

- ① 自社の利益だけでなく他人の幸せを願う自忘他利
の精神に基づいた夢を持っている(自忘他利の精神に
基づいた夢を持つ)
- ② 夢の実現のために自らが先駆者となり行動する
- ③ しかし自分一人では限界があるので関わる一人一
人の多様性を認め、それを受け入れ・尊重し、目的を
共有する仲間を作り進める(多様性を受け入れ協力者
となる仲間を多く作ること)
- ④ これまでの常識や枠組みにとらわれず既成概念を
なくし柔軟な発想と先見性をもって現状を常に改革し
夢の実現に向けて努力を続けることが重要(既成概念
をなくした柔軟な発想のもと、自らを常に改革し、夢
の実現に向けて不断の努力を続けること)

その後懇親会が行われました。

二百四十余名の大規模なものとなり高知県知事/高知
市市長も参加されました。

しかし高知名物の献杯合戦は自粛を求められ、時間内
に終了となりました。

来年度は9月17日、北海道旭川で開催されます。
ちょうど大規模なマルシェが開催されている日程であ
り、そのど真ん中での大会です。

北海道の豊かな食を満喫することができます。また
総合司会は故郷北海道へ帰った元金沢龍馬会の福井慎
二さんです。

なお令和6年度全国大会は近畿北陸ブロックが立候
補しており承認されれば紀州和歌山での大会となり龍
馬の一番弟子であり、維新後外務大臣となり不平等条
約を改定した陸奥宗光に焦点を当てます。

YouTube で大会の様様を見ることができます。是
非一瞥ください。

YouTube ライブの URL

<https://youtu.be/a8CP7ruoU8k>

志士たちが活躍した長崎とは ⑪ ～松方正義～

再度薩摩に戻り申し訳ない。志士とはいえないかもしれないが、島津久光の側近となり、生麦事件や寺田屋事件に関係した。そして幕末慶応2年（1866年）御軍艦掛に任命される。軍艦調達をしていたが、長崎の薩摩屋敷に出張を命じられた。その年の初め、薩長同盟が締結されており、薩摩藩は軍事強化の必要性に迫られていた。

松方はイギリス人3名を雇い海軍技術に必要な数学を習い、測量術や軍艦に必要な技術を研修した。そして藩はイギリスから船体が大きく16ノットという高速軍艦「春日丸」を購入し彼は艦長となった。

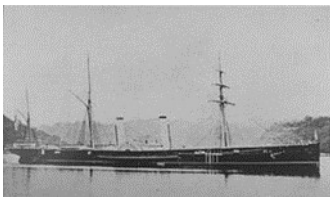
しかし藩はこれを商船として使うことに決定したため松方は憤慨し艦長を辞めてしまった。

（最初商船だったがその後軍艦として戊辰戦争に従軍した。その時は東郷平八郎・西郷従道・黒田清隆等が乗り組んでおり、その後日本海軍の中心となった。松方正義が憤慨せずそのまま艦長を続けておれば明治の名将になれたかもしれない。逆に総理大臣にはなれなかったかもしれない）

このシリーズで何回か説明させていただいたが、鳥羽伏見の戦いの後、河津奉行は長崎奉行所を抜け出して江戸へ戻った。長崎は不穏となり、海援隊や長崎在住の各藩代表が奉行所と長崎を管理した。

当初、松方達は奉行所の金庫が空になっていることを発見した。まだ長崎港内にいた河津に返金を要求しそれを奪還した。そして現金と米を長崎住人に配布し治安悪化を防いだ。さらに奉行所直轄だった遊撃隊を新政府に帰順させた。

松方は長崎の新しい統治機関である「長崎会議所」で薩摩藩代表として勤務した。引き続き「長崎裁判所」（県庁にあたる）で参謀助役を拝命した。その後、大分の日田県知事として転出した。別府に目を付け、港と温泉の基礎を築いた。そこで偽札を発見し調査する。それが大久保利通に評価され中央に転出した。財政方面で活躍する。明治11年から洋行し財政に関し見聞する。日本銀行を設立した。明治18年初めての内閣制度ができ伊藤博文が総理大臣となった際、大蔵大臣を拝命する。そして2度の総理大臣を経験するが大蔵大臣は都合4回にわたり務めた。財政の第一人者である。晩年は元老として後見した。



初代艦長だった「春日丸」
参照：Wikipedia

一貫して財政畑を歩み天皇はじめ内閣から信頼された。しかし薩摩出身であるがゆえに出世できた面も否定できず、若い時に長崎で政変を体験したことと大久保に評価されたことが彼のその後の人生を決めたとい

えるであろう。

さて話しは直接関係がない方向へ行くが、正義の三男である幸次郎は薩摩の同郷人である川崎正蔵が設立した川崎造船所に就職し社長を務めた。

その時、ヨーロッパで買い集めた絵画・彫刻・浮世絵などは松方コレクションと呼ばれた。収集時期は大正初期から昭和初期であり、ゴーギャン、セザンヌ、クールベ、ゴッホなどの作品で、モネとは友人となり直接購入した。彫刻ではロダンの作品も含まれる。しかし第二次世界大戦末期フランス政府に没収された。

その後、松方コレクションの一部がフランス政府からの寄贈という形をとり、上野の西洋美術館が設立された。彼のおかげで西洋の名画を日本で見るできるようになった。

（浮世絵は東京国立博物館に所蔵）



国立西洋美術館 参照：JPTRP

【参考資料：長崎新聞、Wikipedia】

【中田会員が日展4回目の入選！】

昨年の秋10月「改組新第8回日展」の入選者が発表され、何と嬉しいことに私たち金沢龍馬会会員の「中田俊郎（聴山）さん」が書の部「篆刻」で入選されました。

今回で4回目の入選の快挙を成し遂げられたことは、全く嬉しいかぎりです。心からの拍手を送りたい、昨年11月に国立新美術館で開催されました。石川県では石川立美術館においてことしの5月28日（土）～6月19日（日）の日程で「日展石川会展」が開催され、中田さんの入選作品も展示される予定です。



【編集後記】

皆さま、今年も宜しくお祈りします。心の中に常に“龍馬の志し”を持ち張り切ってまいりましょう。会報も第30号が完成、漸く皆さまにお届けすることが出来ました。

***** 事務局 *****

金沢龍馬会

会 長：蛭子政喜

事務局長：吉田信夫

080-5600-1113

jitianxinfu@hotmail.com

会報担当：中田俊郎 090-7806-2269

n-toshio@muji.biglobe.ne.jp

金沢龍馬会 公式ホームページ

<https://kanazawa-ryomakai.com>

金沢龍馬会 facebook

<https://www.facebook.com/kanazawa.ryomakai>

